

理工情報生命学術院
生命地球科学研究群

学位プログラム名	課程	アドミッションポリシー	
生物学 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	生物界や生命現象に対する高い関心があり、生物学の基礎学力と強い探究心をもつ人材を求める。
		入学者選抜方針	<p>一般入試、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜等の多様な選抜方式を採用し、大学卒業直後に進学する学生のみならず、外国人留学生や社会人を国内外から広く受け入れる。提出書類と口述試験により、以下の能力を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出書類と口述試験により、生物学に関する基礎知識や基礎学力を評価する。 ・提出書類に含まれる英語能力検定試験のスコアにより、英語の語学力を評価する。 ・提出書類に含まれる研究計画書と口述試験により、論理的な思考力、的確な表現力とを評価する。 ・口述試験により、研究能力ならびに適正を評価する。
	博士後期課程	求める人材	生物界や生命現象に対する高い関心と知識があり、強い探究心をもって現実の問題を発見し、その課題の解決に取り組む意欲のある人材で、研究成果および活動を分かりやすく解説できるコミュニケーション能力と世界に向けて発信できる外国語能力をもつ人材を求める。
		入学者選抜方針	<p>一般入試(学内および学外進学者用)、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜等の多様な選抜方式を採用する。提出書類と口述試験、前期課程の中間審査の結果等により、以下の能力を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内進学者(一般入試および留学生特別選抜)に対しては、前期課程の中間審査にて生物学に関する高い基礎知識と研究能力、適正を評価する。 ・学外進学者(一般入試および留学生特別選抜)に対しては、提出書類と口述試験により生物学に関する高い基礎知識と研究能力、適正を評価し、英語能力検定試験のスコアにより英語の語学力を評価する。 ・社会人特別選抜に対しては、提出書類と口述試験により生物学に関する高い基礎知識と研究能力、適正を評価する。
生物資源科学 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	<p>農・生物・環境に関する生物資源科学分野に深い関心を持ち、主体的に学修する意欲が高く、生物資源科学に関する基礎知識、研究手法の基盤となる自然科学または社会経済学の基礎学力、英語文献を読み理解するなどの学修に必要な語学力、課題解決に向けて様々な情報を科学的に分析する論理的な思考力、自分の意見を的確に伝える表現力とを有し、博士後期課程に進学し高度な専門的研究を行う研究者を目指す学生、また、修士の学位を取得し幅広い専門知識を活かして社会貢献を目指す学生および国際的にも活躍することを目指す学生を求める。</p> <p>ダブルディグリープログラムのグローバルフードセキュリティサブプログラムに入学するためには、本学位プログラムに入学後、協定校が実施する選抜試験にも合格する必要がある。</p>

		<p>入学者選抜方針</p>	<p>一般入試、社会人特別選抜、留学生特別選抜等の多様な選抜方式を採用し、大学卒業直後に進学する学生のみならず、留学生や社会人を国内外から広く受け入れる。提出書類と口述試験により、以下の能力を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出書類と口述試験により、生物資源科学に関する基礎知識や基礎学力を評価する。 ・提出書類に含まれる英語能力検定試験(TOEFL, TOEIC, IELTS 等)のスコアにより、英語の語学力を評価する。 ・提出書類に含まれる研究計画書と口述試験により、論理的な思考力、的確な表現力とを評価する。 ・口述試験により、生物資源科学分野に対する関心、研究に対するモチベーションと主体性を評価する。
<p>農学 学位プログラム</p>	<p>博士後期課程</p>	<p>求める人材</p>	<p>生物資源科学の諸領域をリードする独創性と専門性を兼備した基礎的及び応用的研究素養を持ち、食料、人口、環境をめぐる今日的・国際的課題に対処できるグローバルな視野と未来を俯瞰した柔軟な思考力を併せ持ち、人類社会に貢献する意欲のある学生を求める。</p>
		<p>入学者選抜方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般入試、社会人特別選抜、留学生特別選抜(国際農業科学プログラム、乾燥地資源科学プログラム)などの多様な選抜方式を採用する。 ・国際的活動に必要な語学力の評価、口述試験による自己表現能力、専門分野に関する研究能力、研究計画の適切性などの評価をもとに、本学位プログラムに適した人材を選抜する。 ・英語による教育プログラムや社会人を対象に1年間で修了可能な早期修了プログラムを設ける。
<p>生命農学 学位プログラム</p>	<p>博士後期課程</p>	<p>求める人材</p>	<p>動物、植物、微生物における種々の生命現象に対する関心と知識があり、生命農学領域の課題解決に役立つ基礎科学の探究とその応用に意欲的で、研究成果等を論理的にわかりやすく説明できる人材を求める。</p>
		<p>入学者選抜方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口述試験による選抜を実施する。 ・口述試験では、修士論文やこれまでの研究内容、入学後の研究計画等について発表させ、質疑応答により基礎・応用力、研究能力等を評価し、本学位プログラムに適した人材を選抜する。 ・修士課程修了直後に進学する日本人学生のみならず、学位取得を志す社会人や留学生を広く受け入れる。
<p>生命産業科学 学位プログラム</p>	<p>博士後期課程</p>	<p>求める人材</p>	<p>生物工学分野における専門性はもちろんのこと、幅広い教養を持つ学生、国際的に研究・仕事を進める意思を持つ学生、国際的な研究グループや組織内で十分な意思疎通を行うことが可能な外国語能力やコミュニケーション能力を持ちたいと考えている人材を求める。社会人においては専門性の深化に加えて国際的リーダーシップを持ち、専門技術者や政策策定者の指導的立場となりうるコミュニケーション力、マネジメント力を求める人材を求める。入学者資質の厳選を図るため、「課題発表型」面接方式による口述試験に重点を置き、さらに英語能力を見るための英語での口頭試問も付加する。学生の志向・能力が本プログラムの人材養成方針と合致するかに重点を置きつつ、本専攻の趣旨に即した人材を選抜する。</p>

		<p>入学者選抜方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院修士課程等、これまでに行った研究内容、実務実績等を論理的に、かつわかりやすく時間内で説明できるか。また質疑応答が適切かを計量する。 ・博士入学後の研究方針について、関連する研究との関連性を踏まえてその学問的意義付け、具体的な方法、予想される結果を適切に時間内で説明できるか。また質疑応答が適切かを計量する。 ・質疑応答を通して、受験者の志向・能力と本プログラム人材養成方針との整合性、意欲、基礎学力、英語能力、ならびに人格的バランス等を総合的に計量する。
地球科学 学位プログラム	博士前期課程	<p>求める人材</p> <p>地球科学の専門分野のうちのいずれかの分野において、学部・学類卒業程度の基礎的専門知識を有しており、地球の過去および現在における多様な諸問題を深く探求する意欲と、それらを総合的に解決するための学際的な素養を身に着けている人材を求める。特に科学的に自然現象を観察し分析することや、室内での実験・観察および野外での観察や調査といったフィールドワークに強い興味を持つ人を歓迎する。地道な基礎科学の勉学をいとわず、国際的な視野から論理的な思考ができるように努力することが要求される。</p>
		<p>入学者選抜方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類審査と筆記試験により、地球科学に関する基礎知識や基礎学力を評価する。 ・口述試験により、研究に対する意欲と論理的思考力を評価する。
	博士後期課程	<p>求める人材</p> <p>地球科学の専門分野のうちのいずれかの分野において、大学院修士課程以上の基礎的専門知識を有しており、地球の過去および現在における多様な諸問題を深く探求する意欲と、それらを総合的に解決するための学際的な素養を身に着けている人材を求める。特に科学的に自然現象を観察し分析することや、室内での実験・観察および野外での観察や調査といったフィールドワークに強い興味を持つ人を歓迎する。地道な基礎科学の勉学をいとわず、国際的な視野から論理的な思考ができるように努力することが要求される。</p>
		<p>入学者選抜方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類審査および口述試験により、知識と学力、研究に対する意欲、論理的思考力、プレゼンテーション能力を評価する。 ・社会人入試(社会人のための「早期修了プログラム」を含む)、海外の大学とのダブルディグリープログラム入試を実施する。
環境科学 学位プログラム	博士前期課程	<p>求める人材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学、工学、農学、社会科学等のいずれかの分野における、学部水準の優れた基礎学力をもつ者。 ・学際的な教育を受ける意欲がある者。 ・環境問題に対する深い関心と、その解決に向けた実践的な教育に関心を持つ者。 ・国際社会において活躍するための広い視野、基礎的教養とともに、使命感、正義感、倫理観、粘り強い継続力、柔軟で強靱な精神力等を持つ者。 ・英語で学会・国際セミナー発表を行うなど、国際的なコミュニケーション力を上達させる意欲がある者。 ・将来、英語を使って、環境科学の専門知識を国際社会の発展に貢献する

			<p>意欲がある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、社会人の場合には、これまでの実務経験等により身につけた実践力、マネジメント力等も積極的に評価する。
		入学者選抜方針	<ul style="list-style-type: none"> ・上記「求める人材」において示した知識・素養、能力、意欲、英語能力を考査する。 ・研究計画の方針、既存研究との関係などを、論理的かつ明確に説明できるかを観察する。
環境学 学位プログラム	博士後期課程	求める人材	<ul style="list-style-type: none"> ・理学、工学、農学、社会科学等のいずれかの分野において、大学院修士水準の知識、素養を身につけている。 ・学際的な環境学研究に取り組むために必要な、知的好奇心、論理的思考力、要約力を有し、かつ周辺関連領域に関する学修を自律的に行う能力を身につけている。 ・グローバルリーダーとして国際社会において活躍するために必要な、使命感、正義感、倫理観を有するとともに、自身で新たな学問分野や課題を切り拓く意欲と、それらを実現するための前向きな姿勢、粘り強い継続力、柔軟で強靱な精神を身につけている。 ・英語で国際学会発表、論文投稿、博士論文を執筆する意欲がある者。 ・持続可能な開発目標に関わる地球規模課題にグローバル・リーダーとして取り組み、英語による政策作成・履行に貢献する意欲と将来ビジョンがある者。 ・上記に加え、社会人の場合には、これまでの実務経験等により身につけた実践力、マネジメント力等も積極的に評価する。
		入学者選抜方針	<p>以下の3項目を評価し、総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院修士課程における研究内容、および(または)、これまでの研究・実務実績等を、適格にかつ論理的に説明できるか。 ・博士論文研究の方針、計画、既存研究との関係等を、論理的かつ明確に説明できるか。 ・上記「求める人材」において示した知識・素養、能力、意欲をプレゼンテーションと質疑応答により考査する。
山岳科学 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	<ul style="list-style-type: none"> ・山岳域に対する関心と山岳域が直面する課題解決に貢献する意欲を持つ人材を求める。 ・自然科学または社会科学に関する基礎的な学力を有し、専門知識に加え、山岳科学の複数の領域にまたがる知識、技術等を習得する意欲がある人材を求める。 ・社会人を含む幅広い分野から人材受け入れる。
		入学者選抜方針	<ul style="list-style-type: none"> ・上記「求める人材」において示した知識・素養、能力、意欲、英語能力を考査する。 ・研究計画の方針、既存研究との関係などを、論理的かつ明確に説明できるかを観察する。
ライフイノベーション (食料革新) 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	<p>食料革新分野におけるイノベーションを実現する意欲、その実現に必要な専門知識および高度英語実践力を修得するに十分な素養を持つ人材を求める。</p>

		入学者選抜方針	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査により、本学位プログラムで学ぶために必要な学士レベルの知識を有しているか、研究背景・将来の展望を英語により文章で説明できる能力があるかを評価する。 ・英語能力試験により、本学位プログラムで学ぶために必要な英語能力 (CEFR 基準で B2 ・以上)を有しているかを評価する。 ・口述試験により、食料革新分野におけるイノベーションを実現する意欲、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。
	博士後期課程	求める人材	食料革新分野におけるイノベーションの実現が期待される研究基礎力、その実現に必要な専門知識、国際社会において研究に関わるあらゆる活動を行うのに十分な英語の運用能力の修得に十分な素養、を持つ人材を求める。
入学者選抜方針		<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査により、修士レベルの専門知識を有しているか (在籍課程での成績が優秀であるか)、研究背景・研究計画および研究成果の社会還元について英語で具体的に説明できる能力があるかを評価する。 ・英語能力試験により、本学位プログラムで研究活動を行うために必要な英語能力 (CEFR 基準で B2 以上)を有しているかを評価する。 ・口述試験により、食料革新分野におけるイノベーションを実現するための意欲および必要な研究基礎力、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。 	
ライフイノベーション (環境制御) 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	環境制御分野におけるイノベーションを実現する意欲、その実現に必要な専門知識および高度英語実践力を修得するに十分な素養を持つ人材を求める。
		入学者選抜方針	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査により、本学位プログラムで学ぶために必要な学士レベルの知識を有しているか、研究背景・将来の展望を英語により文章で説明できる能力があるかを評価する。 ・英語能力試験により、本学位プログラムで学ぶために必要な英語能力 (CEFR 基準で B2 以上)を有しているかを評価する。 ・口述試験により、環境制御分野におけるイノベーションを実現する意欲、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。
	博士後期課程	求める人材	環境制御分野におけるイノベーションの実現が期待される研究基礎力、その実現に必要な専門知識、国際社会において研究に関わるあらゆる活動を行うのに十分な英語の運用能力の修得に十分な素養、を持つ人材を求める。
		入学者選抜方針	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査により、修士レベルの専門知識を有しているか (在籍課程での成績が優秀であるか)、研究背景・研究計画および研究成果の社会還元について英語で具体的に説明できる能力があるかを評価する。 ・英語能力試験により、本学位プログラムで研究活動を行うために必要な英語能力 (CEFR 基準で B2 以上)を有しているかを評価する。 ・口述試験により、環境制御分野におけるイノベーションを実現するための意欲および必要な研究基礎力、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。

ライフイノベーション (生体分子材料) 学位プログラム	博士前期課程	求める人材	生体分子材料分野におけるイノベーションを実現する意欲、その実現に必要な専門知識および高度英語実践力を修得するに十分な素養を持つ人材を求める。
		入学者選抜方針	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査により、本学位プログラムで学ぶために必要な学士レベルの知識を有しているか、研究背景・将来の展望を英語により文章で説明できる能力があるかを評価する。 ・英語能力試験により、本学位プログラムで学ぶために必要な英語能力 (CEFR 基準で B2 以上) を有しているかを評価する。 ・口述試験により、生体分子材料分野におけるイノベーションを実現する意欲、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。
	博士後期課程	求める人材	生体分子材料分野におけるイノベーションの実現が期待される研究基礎力、その実現に必要な専門知識、国際社会において研究に関わるあらゆる活動を行うのに十分な英語の運用能力の修得に十分な素養、を持つ人材を求める。
		入学者選抜方針	<ul style="list-style-type: none"> ・書類審査により、修士レベルの専門知識を有しているか(在籍課程での成績が優秀であるか)、研究背景・研究計画および研究成果の社会還元について英語で具体的に説明できる能力があるかを評価する。 ・英語能力試験により、本学位プログラムで研究活動を行うために必要な英語能力 (CEFR 基準で B2 以上) を有しているかを評価する。 ・口述試験により、生体分子材料分野におけるイノベーションを実現するための意欲および必要な研究基礎力、英語で説明・議論できる能力があるかを評価する。